

ご存じですか！文化財

44

田中正造懐紙和歌

市指定有形文化財
昭和52年3月16日指定



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1221)



所在地 麦倉1189(北川辺西小学校)

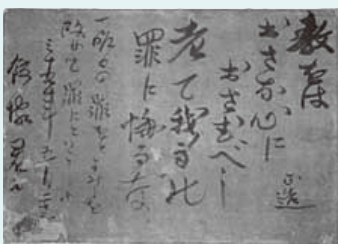
今年、田中正造翁の没後100年にあたります。北川辺西小学校の校長室に保管されている翁の懐紙を紹介します。

教をば おさな心に
おさむべし 老て我身の
罪に悔るな 正造
一昨日の罪をと よみしを
改めて 罪にといたし候
三十九年五月二十三日
飯塚君江

足尾鉍毒被害民の救済を求めてその生涯を捧げた正造翁は、明治39(1906)年、谷中村を廃村の危機から救うため、文字通り孤軍奮闘の状態にありました。「飯塚君」とあるのは、相愛会の中心メンバーの一人、麦倉の飯塚

伊平氏のこと、翁が飯塚家に泊まり、風呂に入っていたとき、当時4歳だった伊平氏の娘さんが「おじちゃん、湯かげんはどうだい？」と声を掛けてくれたことに感じて、この歌を詠んだと言われているとされています。晩年に至り、翁は問題の根本的解決の方法が見えなかったこと、子供教育に示すものとして貴重なものです。

なお、同じ日付で古河から出した正造翁の書簡(市指定有形文化財)が飯塚家に残されており、「昨日に宿泊した御礼と、「罪を」ではなく「罪に」と改めるから、「罪を」の方は破棄してくれといたしています。この書簡は現在、北川辺図書館に展示されています。



田中正造懐紙和歌

紹介者 渡辺 章さん(向古河)